

弾道ミサイル対策

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合に、とるべき行動について知っておきましょう。

(出典：内閣府通知より 平成29年10月現在)

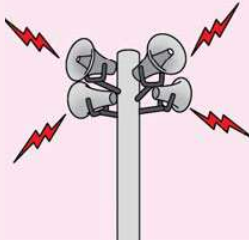


- 弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」*を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

* Jアラート (全国瞬時警報システム)

津波警報、緊急地震速報等の緊急情報を、国が人工衛星等を用いて送信し、市町村の同報系防災行政無線等を自動起動することにより、住民に緊急情報を瞬時に伝達するシステム。

Jアラート



(例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、または地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに屋内に避難してください。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

*日本に落下する可能性、または領土・領海を通過する可能性がない場合は、Jアラートは使用されません。



メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに
行動してください。

屋外にいる
場合

近くの建物の中か地下に避難する

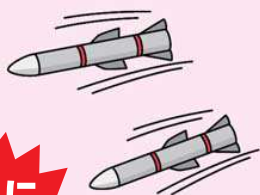
(注)できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くに
なければ、それ以外の建物でも構いません。

建物がない
場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて
頭部を守る

屋内にいる
場合

窓から離れるか、窓のない部屋に
移動する



近くに
ミサイル
落下!

屋外にいる
場合

口と鼻をハンカチで覆い、現場から
直ちに離れ、密閉性の高い屋内または
風上へ避難する

屋内にいる
場合

換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして
室内を密閉する